

関連分野の知識項目 12

- 会計・財務

1. 企業会計

営利を目的とする企業の経済活動を報告する会計。報告対象によって財務会計と管理会計に分類される。

2. 財務会計

企業を取り巻く不特定多数の利害関係者へ、企業の財務状況を報告する目的を持った外部報告会計。

3. 管理会計

企業の経営者や管理者が、意思決定や業績の評価などの内部利用を目的として、必要な会計情報を把握できるようにする会計。

4. 財務諸表

企業が企業活動に伴って変動する財務の状況を記録、計算、整理して、明確になった経理内容を報告するために作成されるさまざまな計算表。

5. 貸借対照表(バランスシート、B/S)

財務諸表のうち、企業の一定時点における財務状態を表示したもの。一定時点における企業の資産、負債および純資産を表示し、企業の財政状態を明らかにする。

6. 連結貸借対照表

親会社が、子会社を含めた企業集団の決算日における資産と負債、純資産を対比して示すことによって、企業集団の財政状態を表す連結財務諸表。

7. 資産

将来企業に収益をもたらすことが期待されているもの。

8. 純資産

企業の資産総額から、負債の額を差し引いた金額。「自己資本」と同義。

9. 固定資産
企業が長期にわたって使用する資産。有形固定資産と無形固定資産がある。
10. 繰延資産
支払った費用のうち、将来にわたって企業に利益をもたらすと考えられるもの。
11. 負債
既に発生している支払い義務(債務)と、未払費用など将来の資産の減少が予想されているもの。流動負債と固定負債に分類される。
12. 固定負債
期限が決算の翌日から1年を超える借入金や社債など、流動負債以外の負債。
13. 流動負債
企業の通常の営業活動によって発生した債務や決算の次の日から1年以内に支払期限が到達する債務。
14. 自己資本比率
自己資本を総資本で割った比率。企業の資本構成の安全性を見るための指標のひとつ。〔自己資本比率 = 自己資本 ÷ (負債 + 自己資本)〕
15. 流動比率
流動資産を流動負債で割った比率。短期の支払能力を知る指標のひとつ。
16. 損益計算書(P/L、Profit and Loss statement)
財務諸表のうち、一会計期間における経営成績を表示したもの。
17. 減価償却
固定資産の取得や設備投資などに掛かった支出を、設備を使用する期間において費用として配分する手続き。あらかじめ定められた償却法と耐用年数により、資産ごとの年間の償却額を算出する。
 - ✓ 定額法
固定資産の耐用期間中、每期均等額の減価償却費を計上する方法。
 - ✓ 定率法
未償却残高に一定率を乗じた減価償却費を計上する計算方法。

18. キャッシュフロー計算書
財務諸表のうち、一会計期間における現金収支の状況を表示したもの。
19. 有価証券報告書
企業の概況、事業内容、設備状況、営業状況、財務諸表などが記載されている報告書。
20. 損益分岐点を求める計算式
〔損益分岐点売上高＝固定費÷(1－変動費率)〕
21. 売上総利益を求める計算式
〔売上総利益＝売上高－売上原価〕
22. 営業利益を求める計算式
〔営業利益＝売上総利益－(販売費および一般管理費) 〕
23. 経常利益を求める計算式
〔経常利益＝営業利益＋営業外利益－営業外費用〕
24. 付加価値率
売上高のうち付加価値の占める割合。企業の生産加工度の大きさを表す指標。
25. IR (Investor Relations)
投資家向け広報。企業が株主や投資家に対して行う、投資判断に必要な情報を提供していく活動。
26. アカウンタビリティ (Accountability)
説明責任。広く社会に影響をもちうる活動を行う団体が、責任を理解し、利害関係者に活動や予定、内容、結果などの報告をする必要があるとする考え方。
27. ゴーイングコンサーン (Going Concern)
企業の存続可能性。倒産せず発展し続ける事を目指す経営。

28. 業種
事業の種類による分類。例えば、農業、漁業、建設業、製造業、情報通信業、小売業、教育学習支援業など。
29. 業態
事業の構成・形態による分類。例えば、百貨店、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストアなど。
30. リース(Lease)
企業などが選択した機械設備等を購入し、その企業に対してその物品を比較的長期にわたり賃貸する取引。物件をリース会社が代わりに購入した後、貸し出すことが多い。
31. レンタル
レンタル会社が既に所持している汎用性のある物品を、必要とされる期間だけ賃貸借する取引。一般的に利用期間は短期間で、途中解約も可能なことが多い。
32. ROE(Return On Equity)
自己資本利益率。自己資本に対して、どれだけの利益を出したかを表す指標。
33. ROA(Return On Assets)
総資産利益率。株主だけでなく、債権者も含めた資金提供者の立場から、企業が所有している資産全体の収益性を表す指標。
34. PER(Price Earnings Ratio)
株価収益率。現在の株価が、前期実績または今期予想の1株当たり利益の何倍かを表す指標。
35. NPV(Net Present Value)
正味現在価値。評価対象会社の将来のキャッシュフローを現在の価値に割り引いて計算した企業価値。

下記の練習問題で理解を深めましょう！



- ✓ 情報セキュリティマネジメント試験合格講座 <http://rakupass.com/security/>

Copyright © RakuPass.Com - Kanya Ishikawa All Rights Reserved.